



小学校の「みどりの広場」の
木の枯れ大木を伐採しまし
た。 2023.1.22

令和5年2月発行：北高森自治会

北高森自治会だより



主な記事

- 第40回伊勢原駅伝競走大会
(北高森チームが健闘しました)
- みどりの広場等の整備・伐採

第40回「伊勢原駅伝競走大会」に北高森チームが参加しました。応援ありがとうございました！

令和5年1月15日(日)

新春の第40回「伊勢原駅伝競走大会」が開催されました。コロナ禍の中、実施内容を縮小し、開会式のみ・表彰式・閉会式は行わずに実施されました。

我が北高森チームは綾部監督のもと、既定のコースを力強く走りました。

伊勢原市総合公園から、専修大学のグラウンド脇を抜け、東富岡大福寺地区から龍散寺地区を通り東富岡神社で中継し、三間経由で総合公園へ戻るコース、5区間、計17・55kmです。心臓やぶりの上り坂などもあり、選手の気合と吐く息が新春の伊勢原を元気にしてくれましたので、活動を紹介しします。

第40回伊勢原駅伝競走大会 令和5年1月15日(日) チーム「北高森」



Photo by Tanaka

令和5年1月22日(日) AM実施。

緑台小学校の自然観察コースの整備は、学校と地域の連携の一つとして、また、特色ある学校教育の支援の一つとして、開校当時から続いてきました。

今回、北高森自治会は学校からの依頼を受け、自然観察コース西側の小路に被る枝葉落し(長寿会の皆様による)と、「みどりの広場」の枯れ大木伐採を実施しました。前者は、秋の整備の残務として、後者は新たに、学校運営協議会(コミュニティ・スクール)と連携し、倒れたら大変危険である「枯れクヌギの大木」を5本伐採しました。

北高森のチェンソー隊(個人所有)の皆さんの絶大なるご尽力で、見事に安全に伐採することができました。倒した大木は短い丸太などのベンチにしたり、ロングのままアスレチックとして活用されます。

子どもたちが、クラスで国語の詩の朗読会をしたり、自然観察の授業などをしたりと活用されるそうです。とても素敵な学校ですね。季節に合った楽しい活動が展開されることでしょう。

学校長からお礼の言葉がありました。



子どもたちの自然観察コース、西側の小路に被る枝葉を地権者や長寿会の皆様のご協力で、枝降ろしをしました。とても明るくなりました。



どちらの方向に樹木を倒すか、十分検討し、ロープで引っ張りながら、所定の位置に倒すことができました。里山のことをよくご存じの名人たちによるすばらしい業でした。たいへんお疲れ様でした。



Photo by Tomura

【編集後記】

令和5年の新春。箱根駅伝や伊勢原駅伝などが、コロナ禍の中で実施されました。

今号は、新年を祝い、伊勢原駅伝を特集しました。規制が厳しい中での応援でしたが、「北高森ののぼり」を立てて応援しました。慰労会は、今年もファミレスで行いました。選手の皆さんの元気いっぱい地域の皆様にお伝えします。

また、学校支援活動で自然観察コース・「みどりの広場」の整備作業を特集しました。何年かに1回はこうした作業が里山には必要になります。地域の皆様も森林浴を兼ねて、ぜひ「みどりの広場」や自然観察コースを散策して、子どもたちと緑台小の学校教育や自然を話題にして頂きたいです。

本年の皆様にとって良い年になりますように！

細谷毅義